

沼津駅周辺総合整備事業



鉄道高架後のイメージ

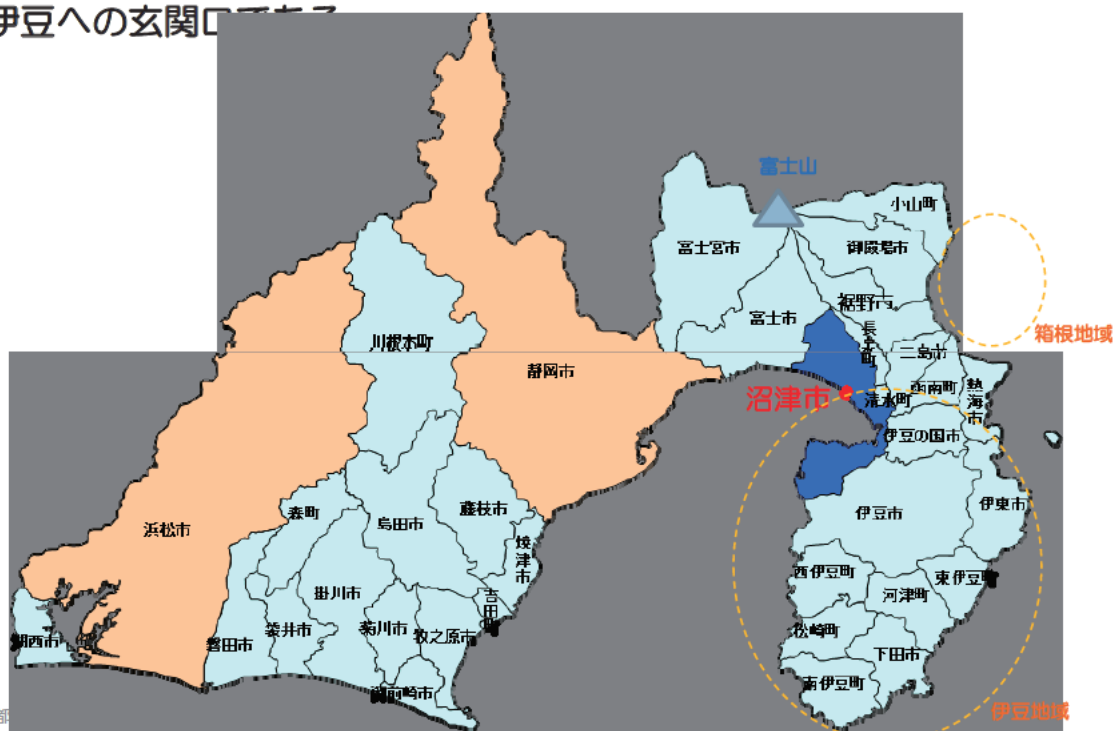
静岡県 街路整備課

i-都市交流会議2020

1

1. 沼津市の概要①

- ・ 沼津市は、静岡県東部地域に位置している。
- ・ 本地域は、首都圏に近接しており、世界的な観光資源である富士・箱根・伊豆への玄関口である。



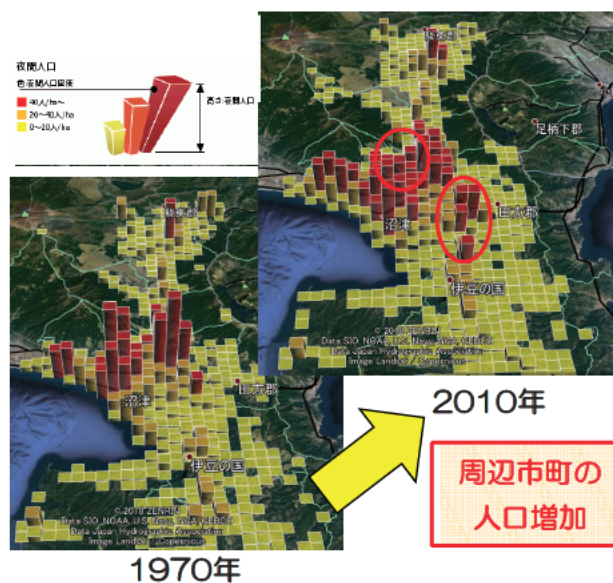
i-都市

2

2. 沼津市の概要②

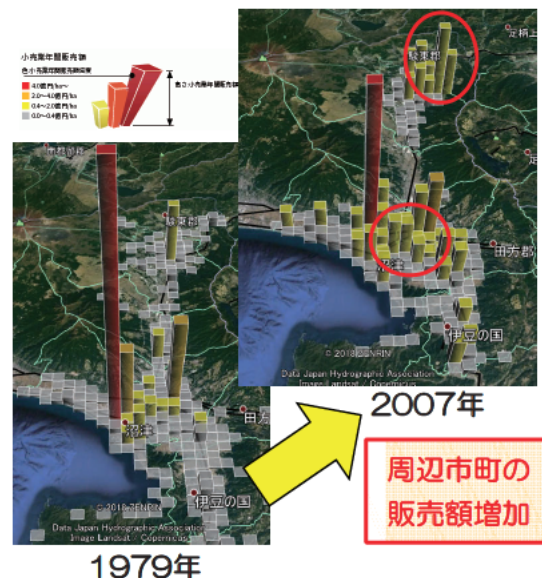
- ・ 沼津市は、歴史的、地理的に県東部地域の拠点都市の役割を担ってきた。
- ・ しかしながら、周辺市町の都市化も進む中、拠点性や魅力は低下しつつある。

【人口分布】



i-都市交流会議2020

【小売業年間販売額】

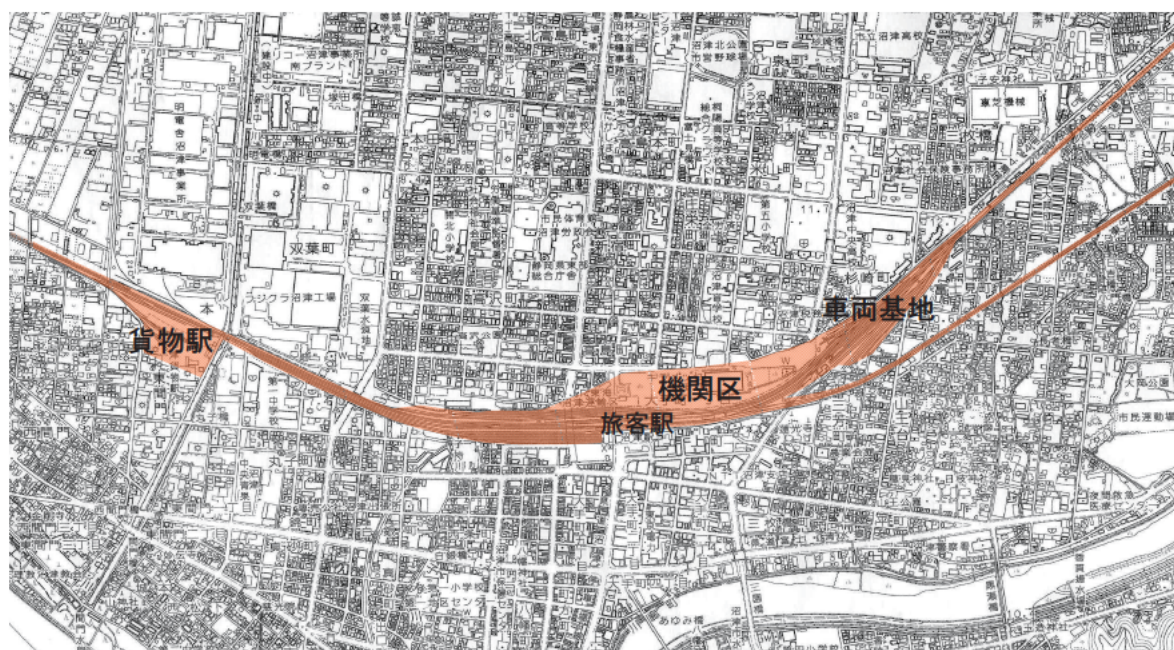


1979年

3

3. 沼津駅周辺の課題 ① 鉄道施設による土地利用の阻害

旅客駅周辺の一等地に、機関区や車両基地、貨物駅といった大規模な鉄道施設があり、都市的土地利用が妨げられてきた。



i-都市交流会議2020

4

4. 沼津駅周辺の課題 ②交通課題

鉄道を南北に横断する道路は、三ツ目ガード、あまねガード、のぼりみちガードの3箇所であるが、交通混雑や大雨による冠水等が発生している。



5. 沼津駅周辺総合整備事業の概要

鉄道用地を活用して、沼津駅周辺の課題を抜本的に解決し、県東部地域の拠点都市の魅力と活力ある都心づくりに向けて、沼津駅周辺総合整備事業を進めている。



[都市基盤整備]

- 鉄道高架事業
 - ・沼津駅付近連続立体交差事業
- 関連道路整備事業
 - ・(都)片浜西沢田線等8路線
- 土地区画整理事業
 - ・沼津駅南土地区画整理事業
 - ・静岡東部拠点第二地区土地区画整理事業
- 特定再開発事業
 - ・静岡東部拠点特定再開発事業
 - (静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業)

[建物整備]

- 市街地再開発事業
 - ・大手町地区第1種市街地再開発事業 (イーラde)
- 駅北拠点開発事業
 - ・ふじのくに千本松フォーラム

事業の効果

- ◆ 広域都心の形成
- ◆ 交通環境の改善
- ◆ 土地の有効利用
- ◆ 都市環境の向上
- ◆ 防災性の向上
- ◆ 経済活動の活性化

6. 沼津駅周辺総合整備事業の進捗状況

事業により整備された「プラサヴェルデ」や「BiVi沼津」、「イーラde」が、沼津駅周辺のにぎわい創出の拠点となっている。



7

7. 今後について

静岡県

事業が進み、鉄道を高架化すると、歩行者が駅南北を移動できる道路や通路が新たに整備される。

駅南北の移動がスムーズになり、回遊性が高まることで、中心市街地の経済活動の活性化につながる。



今後も、鉄道の高架化で生み出される鉄道施設の跡地や高架下などを有効活用し、さらに民間投資が活発になり、広域拠点都市「沼津」の魅力とにぎわいが一段と高まるように、沼津駅周辺総合整備事業を進めていく。

8